

02

House & Life File

デザインも、機能面も
景色も、暮らす楽しさも。
平屋が家族を包み込む。

夫妻と12歳の長男、4歳の次男の4人家族。

阿蘇を望む景色の中で、

昼も夜も楽しみっぱいの平屋が、

4人での価値ある時間を包み込んでいる。

右手奥は玄関・シューズクローゼット。リビングに入る動線と別に、ここから服や道具を掛けられる土間収納とパントリーを過ってキッチンに出られる動線を作った。「この間取りが想像以上に便利」と奥さま

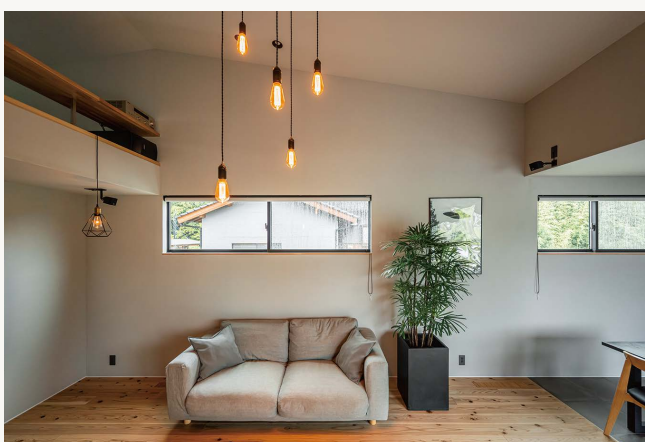
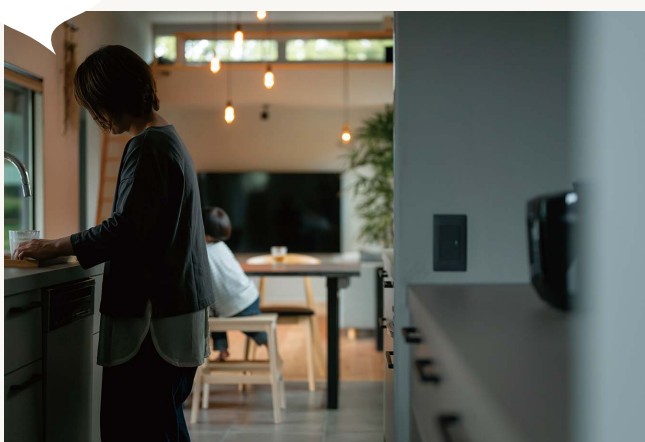
家族みんな一緒に
過ごす時間が、
不思議と、増えた気がする。

何年も前から、
記憶の中に留めていた、
あるビルダーの名前

以前は奥さまの実家に同居していたTさん一家。「意外に、家族4人が同じ空間にいることがなかった」と奥さまは当時を振り返る。ところが、「SORAデザイン」とつくったこの平屋に住み始めると、みんな何となく同じ場所にいたり、気配を感じたり。家が自然に、家族の空気をつないでいる。子どもが成長し家づくりを検討し始めたとき、ご主人は「SORAデザイン」の名前を思い出した。「家のデザインや雰囲気が好きで、いつか家を建てるならここで、と何年も前からチェックしていたんです」。早速、事務所を訪れてみると、同社の田崎さんは「他の家もたくさん見た方がいいですよ」と、なんとも営業つきのアドバイス。「驚きました。他社のネガティブなことと言わず、自社の売り文句や押



キッチンの居心地も抜群



右／無塗装の杉材の床は、ご主人が絶対に叶えたかったことの1つ。ライトグレーの珪藻土の壁ともよく似合う。
上／キッチンからはダイニングやリビング、ロフト、デッキに寝室の方まで見渡せて、遠くに阿蘇の景色も見える。
下／5つ連なるペンダントライトは、夫妻がネットで見つけたもの。随所に好きな物がさり気なく配されている



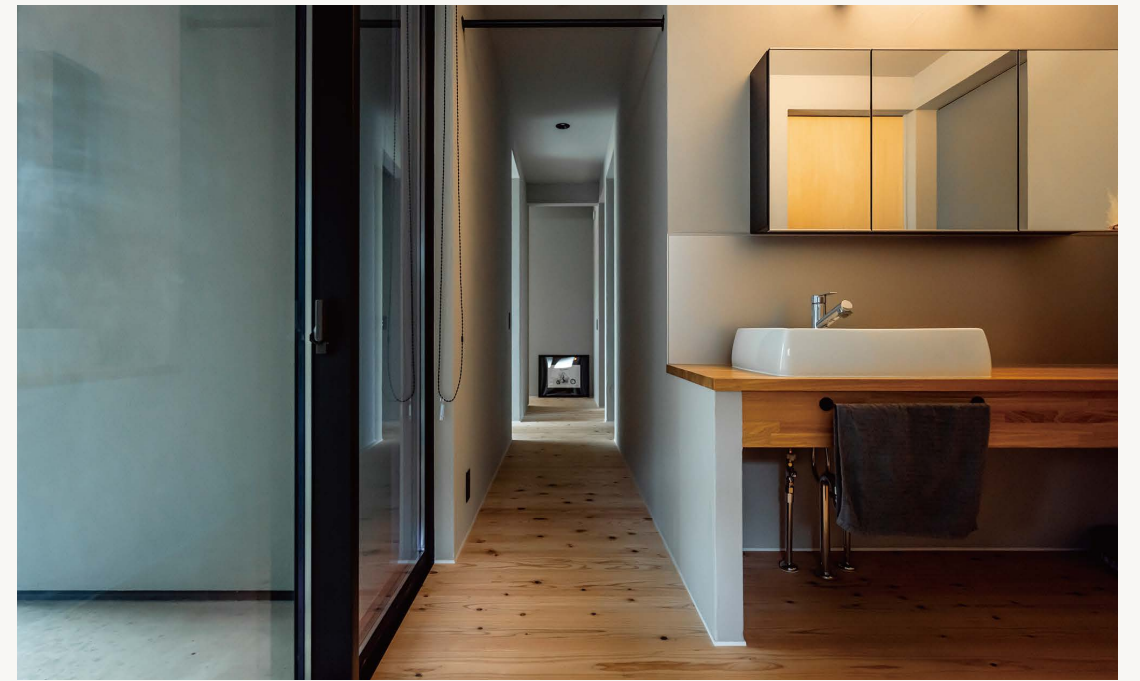
「グラフテクト」のアッシュベージュのキッチンは、グレーの塗り壁とベストマッチ。ここに立つだけで気持ちがワクワクする

しの強さもなくて、本当に私たちが納得できる家づくりができるよう助言してくれました。そんなことを言ってくれる所は、他にはなかった。その後、多くのビルダーや展示場を見るも、結局「SORAデザイン」が一番よいと確認する結果にしかならなかった。

ゆとりある広さの土地が見つかり、いよいよ打ち合わせ。家族の希望やライフスタイルをヒアリングし、土地を生かしたファーストプランを作ってくれた。「自分たちでも、こんな間取りもできる?ここをこう変える?などシミュレーションをしてみたけど、やっぱりこのプランが完璧で。こんなに汲み取ってもらえるものかと、ただただ驚くばかりでした。」



景色が良い西側に開いた家。土間デッキをLDKとプライベート空間が囲む配置に。奥には寝室も見通せる。ここでBBQやお家キャンプをするのが楽しみ



上ノ掃除の手間や動線の簡潔化を考えて、洗面台は家の中心部に1つだけ。この奥に4.5畳のワークインクローゼットとランドリー、デッキが隣接し、洗濯動線も完璧。
下ノリビング上のロフトは、子ども達の遊び場。4歳のKくんも怖がらずスイスイ上り下りする



左ノインナーガレージも検討したが、広い敷地を生かし、母屋の横にガレージを設置。
右ノ外壁は焼杉を使用。風雨にさらされることで経年美化ともいえる風合いを醸し出す

もり空間々に仕上げた書斎は、ご主人のリモートワークでも活躍。特別に配線を施して設置したご主人愛用のスピーカーで音楽を聞いたり、デッキや庭でBBQをしたり…。便利さにごだわったからこそ、家族らしい自然体の暮らしを送れている。「打ち合わせが、毎回来しくて仕方なかった。そして完成した家で過ごす時間も楽しい。こんなに幸福なことって、ないかもしれません」。最後に夫妻は、こう振り返った。

朝起きて、一番に目に入るのが阿蘇の山々。

暮らしやすさにこだわったからこそ、毎日が楽しい。

T 郎は、阿蘇の山々を望める景色を生かすために、西側に開いた平屋。LDKの前に中庭のように広がる土間デッキから、家中に自然光を届ける。このデッキ越しに寝室が見えるのは、朝起きた瞬間から家族の気配を感じるための間取りの工夫だ。「カッコ良さも便利さも兼ね備えた家が理想だった」とご主人。例えば、シックに統一したグレーの珪藻土の塗り壁と無塗装の杉の床は、室内の空気を整える。ダイニングの下に張ったタイルは、食べこぼしの掃除がしやすい。ショップのようにオシャレな玄関から土間収納、パントリー、キッチンへの動線は、帰宅した子ども達の道具や上着の片付けにも便利。「外壁の焼き杉は、阿蘇の景色に似合うと提案してくれたもの。手入れは必要ですが断熱効果があるし、趣ある雰囲気がお気に入りです」。

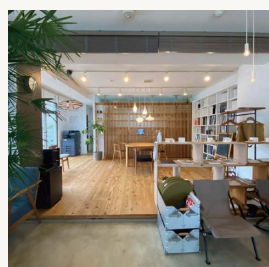
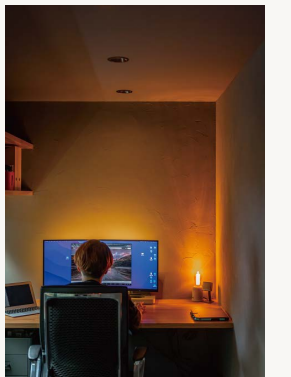
そして、どうしても叶えなかったのが、リビングのロフト空間と書斎だ。ロフトは、4歳の次男Kくんがハンゴをスイスイ登り、一番の遊び場におこ



阿蘇の景色に馴染むよう、家屋の高さは控えめに外壁に自然素材を採用。植栽などは、ご主人が何度もシミュレーションして考案



右ノあえてダークグレーで落ち着いた空間に仕上げた書斎。
左ノ寝室近くに設けた子ども部屋もシンプルで飽きが来ない空間に



Company Profile

株式会社 SORAデザイン

〒860-0834 熊本市南区江越1-6-5
tel.096-288-9801
<https://www.soradesign.biz>

本社事務所

会社情報は
こちらから



資料請求は
こちらから

